

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-210	16-307	慶應義塾大学
題名(原題/訳)		
The Effectiveness of Visual Short-Time Neurofeedback on Brain Activity and Clinical Characteristics in Alcohol Use Disorders: Practical Issues and Results. 脳活性に関する視覚短期 Neurofeedback の効果とアルコール使用障害者の臨床的特徴: 実際的な問題と結果		
執筆者		
Lackner N1, Unterrainer HF2, Skliris D3, Wood G3, Wallner-Liebmann SJ4, Neuper C3, Gruzelier JH5.		
掲載誌		
Clin EEG Neurosci. 2016 Jul;47(3):188-95		
キーワード		PMID:
アルコール使用障害、脳波、神経フィードバック、コミュニティ治療		26415612
要旨		
<p>オーストリアの治療的コミュニティ・センターで治療されるアルコール摂取障害 (AUD) の患者 (n = 25) の追跡調査で新しい視覚のパラダイムで α / θ 神経フィードバック (NF) の有効性を調べるために、本研究は行われた。</p> <p>実験的な研究デザインは、絶対のおよび相対的な安静時 EEG 帯力の変化に焦点をあて、以下に挙げる臨床変数についても測定した。うつ病 (Beck Depression Inventory [BDI-V])、精神的症状 (Brief Symptom Inventory [BSI])、コーピング (Freiburg Questionnaire on Coping with Illness [FKV-lis])、精神療法の動機 (Therapy Motivation Questionnaire [FPTM-23])、SOC (コヒラランス感) (Sense of Coherence Scale [SOC-13])、トラウマ後の成長 (Posttraumatic Growth Inventory [PPR])、アルコール渴望 (Alcohol Craving Questionnaire [ACQ])。トレーニング効果を測定するために、参加者は 2 つの群にランダムに割り当てられた: 実験群 (EG, n = 13) と対照群 (CG, n = 12)。EG の患者は、リハビリテーション・センターの標準治療プログラムに加えて、α (8-12Hz) と θ (4-7Hz) 周波数帯域力を強化するために、6 週間にわたって視覚の NF トレーニングを 12 セッション受けた。CG の参加者は、付加的な NF 介入を受けなかった。</p> <p>共分散 (MANCOVA) の多変量解析は、EG で絶対の α と θ 力における傾向によって、変化を示した。MANCOVA 効果が臨床尺度で見つからなかった場合であっても、AUD 患者は NF のコース中に脳活動のコントロールが増加したと報告した。しかしながら、いくつかの臨床尺度 (BDI-V、BSI、FKV-告訴、PPR) の施行前と後の変化は、コントロール群ではなく実験群だけで観察された。この予備的研究の調査結果は、治療的コミュニティへの付加介入としての視覚の短期 NF の実用性と効果に関する初めてのエビデンスを提供する。</p>		